

室温を保ちながら
しっかりと換気



二酸化炭素 (CO₂) 濃度を自動測定し、表示・換気制御する
ダクトレス熱交換換気システム
せせらぎ® AQ「エアークオリティ」



ウイルス除菌フィルター

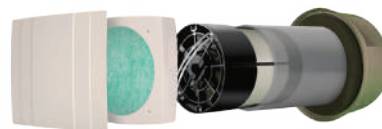


PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム



**GOOD DESIGN
AWARD 2020**

ISO9001 認証取得



空気中を漂う新型コロナウイルス対策として、二酸化炭素(CO₂)濃度を自動測定し、表示・換気制御する「せせらぎ-AQ」(AQ=Air Quality)はCO₂濃度に連動して換気量を増減させるコロナ対策換気システムです。人が呼吸をすると、CO₂が吐き出されます。CO₂が多いということは、空気が滞留している要換気スポット！CO₂濃度の低下に伴い、室内空気中のウイルスや細菌の含有量も低下します。

コントローラー「VMPX-AQ」

CO₂濃度を、コントローラー「VMPX-AQ」の色を変えて、お知らせします。

CO₂濃度の表示

- 室内の空気質が良好です。CO₂濃度は体への影響はありません。
- CO₂濃度は推奨値より多いです。
- 室内のCO₂濃度が高いです。
- と ● は換気不足を検知し、自動で換気量を増やします。

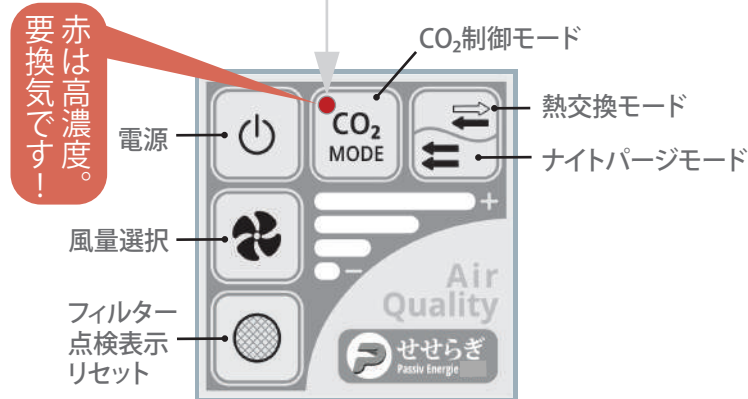
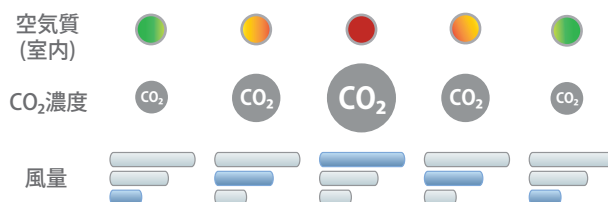
CO₂(屋内): 計測可能範囲: 0 ~ 5000ppm (精度: ± 50ppm または ± 5%)

風量自動調整モード

CO₂センサー内蔵の集中コントローラーVMPX-AQは、室内の空気のCO₂濃度を検知し、ファンユニットの風量を自動調整します。空気質が悪い場合は、自動で換気量を増やします。汚れた空気を早めに室外に出し、クリーンな外気を部屋に取り込みます。熱交換換気することで、室内に最適な暖かい空気を維持できます。室内の空気質は集中コントローラーVMPX-AQにより表示されています。

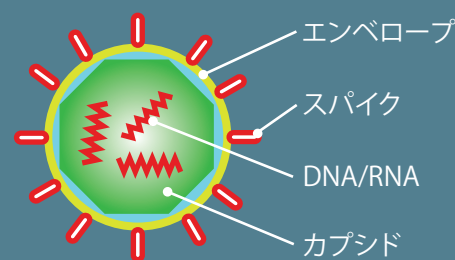
CO₂濃度に連動して換気量を増減することでコロナウイルス対策を行っています。

風量自動調整モードによりCO₂レベルを調整



せせらぎ-AQのウイルス除菌フィルター

ウイルスとは、DNAまたはRNAの何れかの核酸と少数のタンパク分子からなる微小な物体です。単独では増殖ができないため、エンベロープ上のスパイクにより宿主の細胞内に侵入し、増殖します。ウイルスフィルターにより捕集されたウイルスは、酵素の作用によりエンベロープが溶解されますので、不活化します。



エアフィルターは、空気中に漂う塵や埃のほか、カビや細菌などの微生物も捕集します。従来のフィルターでは、捕集された微生物を死滅させることができないため、フィルター内部で生存し、増殖したカビや細菌が、フィルターの外に放出される危険性があります(二次汚染)。せせらぎAQのフィルターは、酵素の力で細菌などを不活化させることで、二次汚染を確実に防止します。

従来のフィルター



せせらぎAQ

